

『人の内面の深い理解』

日野中学校 3年 佐々木 美緒

あなたはウワサをうのみにしてしまったり、見かけで人を判断したりしていませんか。知らず知らずのうちに誰かを傷つけたり、決めつけたりしていませんか。

私は、外見や聞いた話だけで、その人の全てを「こうだ」と決めつけてしまうのではなく、その人の深いところ・内面まで知ることが大切だと思います。

私がこう考えるようになったきっかけは、ある本を読んだからです。その本の登場人物や、ストーリーを読み進めるうちに、私は「人の内面をしっかりと見つめることの大切さ」に気づきました。

ところが、あるとき、そう考えている人は実は少ないのではないかと思いました。なぜなら、私のこの考え方を家族に話したとき、このような返事が返ってきたからです。「人を見た目で判断しないのは無理だ。服装や髪型が乱れている人はそういう人だと思う。」

私はそれを聞いて一理あるなとも思いました。けれども、どこかもやもやした気持ちが残り、悩んでしまいました。

「たしかに服装や髪型のルールを守れない人は、行動や内面もそういう人なんだろうか…。」

でもやはり私は、それが全部じゃないと改めて思いました。なぜなら、私が以前読んだその本では、主人公の支えになった親友は、金髪・ピアスをしていました。でも彼にはそうせざる得なかった事情がありました。なにより、彼は主人公の支えとなる素晴らしい人でした。このように、その人にしかわからない事情があったり、見た目だけではわからない良さがあったりします。もし、その親友を見た目だけで判断してしまったとしたら、彼の内面の素晴らしい部分に気づけないうままだし、彼自身を傷つけてしまうことにもなります。見た目で人を判断するということは、マイナスなことが多いと、私はこのことから考えるようになりました。

たしかに、見た目で人を判断してしまうこともあります。服装は時にその人の所属や役割を表す大切なものにもなります。例えば学校で制服をきちっと着こなすことは大切だという価値観は、ごくごく自然なものだとも思います。面接など第一印象が大切になる場面ももちろんあります。そうした身なりを整えることが、仕事の上での信頼関係につながるという考えももちろんわかります。そうだとすると、私が読んだ本に出てきた親友の彼のように、その人の内面をしっかりと見てみないとわからないこともあると思うのです。

見た目のほかにも、人のごく一部分だけを見て、「この人はこうだ」「こいつは悪いやつだ」と決めつけるようなことが、世の中にはたくさんあると思います。SNSでも、人のたった一つだけの言葉や行動をとらえて、その人全部を否定するような誹謗中傷を見ることがあります。以前、私がよく見ている動画配信者の人が、そのような誹謗中傷を受けていました。たしかに誹謗中傷をした人にとっては、何か気に入らないことがあったのかもしれませんが、でも、私はその配信者の人のことをよく知っていたし、その中傷が的外れだとわかっていたので、何でその人のことをよく知らないのに、そんなことが言えるんだろうととても悲しい気持ちになりました。私がさらに悲しくなったのは、そのコメントだけを見て、同じように中傷するコメントを書き込んだ人がい

たことです。

他人の言葉や行動にもやややを感じることは、たくさんあると思います。それに対して注意をし、意見を言うことだってもちろんあります。でも、その人のすべてを否定してはいけないと強く思います。

わたしたちは、本当に多くの人と出会い、関わり、生きていきます。その人のことを評価し、判断する必要に迫られる時もあります。ですが、私は見た目や一部の言動だけでその人のことを決めつけたりせず、内面や、その人がどんな人でどんな良いところがあるかを知ろうとします。私の周りには素敵な友人や家族、大切な人がたくさんいます。みんなそれぞれに個性があり、いいところがあり、もちろん一癖あり、でも、みんな大切な人です。そう言えるのは、その人たちのことを、私は「よく知っているから」です。